

編集 後記

第62巻第12号では、原著1編、研究ノート1編、資料1編を掲載しています。原著では地域在住の一人暮らし高齢者を対象として食品摂取の多様性と食物アクセスとの関連について検討しています。研究ノートは患者調査と医療施設調査の調査個票情報の突合によって入院がん患者の地理的な受療行動の特徴を検討した報告です。資料では保健師・看護師統合カリキュラムでの技術到達度の割合を学生、教員、および保健師を対象に評価しています。そして、本号には年間の総目録が記されています。タイトルを見ると、高齢者を研究対象とした報告が(本号も含めて)ほぼ毎号に掲載されていることが分かります。今日の日本の公衆衛生領域の重要な課題であることを再認識いたします。同時に、がん、心血管疾患、メンタルヘルス、感染症、等々、公衆衛生領域の研究課題の幅広さと解析方法の多彩さを改めて実感いたします。言い換えれば、これは投稿される皆様の背景(専門領域)の幅広さと多彩さを反映していると思います。この幅広さと多彩さが、本誌の魅力の一つであろうと思います。

既にご覧になった読者も多いと思いますが、学会ホームページに「原著、公衆衛生活動報告、資料の選択に関するフローチャート」が掲載されています。併せて「科学的な新規性」、「現場実践」、「資料」の考え方についても記されています。投稿原稿の種類を選択に当たって、皆様の助けになれば幸いです。本誌の幅広さや多彩さを維持、向上できるよう皆様のより多くの投稿をお待ちしております。

(丹野高三)

次号予告 (第63巻・第1号)

短 報

東日本大震災の避難者の避難状況と運動習慣
福島県「県民健康調査」……………永井雅人, 他

公衆衛生活動報告

介護・福祉施設向け感染対策セミナーの実施と
評価……………水間良裕, 他

研究ノート

疫学研究論文のレビューからみた震災後経過時間
と疾患発生との関連……………月野木ルミ, 他
自殺対策における保健師のNPO等支援団体との
協働方法……………丸谷美紀, 他